

令和6年度版

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

北群馬渋川地域



県道南新井前橋線（2期工区）バイパス整備



国道353号（村上工区）落石対策



県道分郷八崎寄居線（真壁工区）歩道整備



千石沢3 土石流対策



ていぼう
堤防

どんな効果
があるの？



はし
橋

事業の進み
具合は？

何のために事業
しているの？



どうろ
道路

どんな事業？



さぼう
砂防えんてい

北群馬渋川地域

北群馬渋川地域は県の中央、関東平野の北端に位置し、伊香保温泉に代表される観光産業のほか、赤城山麓・榛名山麓に囲まれた農地では、標高差を活かした中山間地農業が行われ、観光農園でのフルーツ狩りも盛んです。また、首都圏方面から草津や嬬恋など県北西部への玄関口に当たる交通の要衝となっています。



地域の優れた特性

- 県内屈指の歴史と集客力を誇る伊香保温泉などの多彩な観光資源を有しています。
- 関越自動車道渋川伊香保インターチェンジは伊香保温泉のみならず、草津、四万、万座など県北西部観光地への玄関口となっています。
- 国道17号前橋渋川バイパスや県道高崎渋川線バイパス、国道17号上武道路等の整備により、県内各方面からのアクセスも格段に向上してきています。

地域の現状と課題

- 令和元年東日本台風など、近年、頻発する気象災害を踏まえ、水害・土砂災害リスクを軽減するための取組が求められています。
- 山間地の多さから豪雨時や地震時等でも道路の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 伊香保温泉などの地域の観光振興を支援するための取組が求められています。
- 交通ネットワークの拠点としての優位性を高め、広域的な地域間連携の強化を図るための取組が求められています。
- 高速道路へのアクセス性の向上による、新たな企業誘致の促進や観光振興、周辺地域の連携強化を図るための取組が求められています。
- 歩道が未整備の通学路が多く、交通人身事故発生件数も多い地域のため、歩行者や自転車の安全な通行を確保するための取組が必要です。



県民の声

- 令和元年東日本台風など異常気象による水害が頻発しており、利根川やその支川の水害対策を実施してほしい。
- 過去に被害があった箇所の土砂災害対策を実施してほしい。
- 交通量が多いが、歩道が整備されていない箇所等における子ども通学の安全性に不安がある。
- 駒寄スマートIC*の大型車利用が可能になるので、渋川、榛東、吉岡の連携を踏まえた一層の観光振興が必要である。
- 伊香保温泉などの地域の観光資源の活用につながるアクセス道路等の整備を進めてほしい。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 近年、頻発する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川利根川の改修等を推進します。
- ② 過去に被害があった箇所を中心に土砂災害リスクを軽減するため、千石沢3の土石流対策等を推進します。
- ③ 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道353号の落石対策や県道南新井前橋線のバイパス整備等を推進します。
- ④ 近年、頻発する異常気象による水害リスクを軽減するため、一級河川吾妻川圏域の改修について検討します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 地域の観光振興を支援するため、県道渋川下新田線の線形改良等を推進します。
- ② 広域的な地域間連携の強化を図るため、県道高崎渋川線バイパス4車線化の整備等を推進します。
- ③ 歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、県道高崎安中渋川線や県道分郷八崎寄居線の歩道整備等を推進します。

～掲載事業一覧～

北群馬渋川地域

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	土石流対策	渋川市行幸田	尻谷沢	1
2		渋川市赤城町津久田	千石沢3	2
3		渋川市金井	下町の沢	3
4		渋川市入沢	袋沢-2	4
5	落石対策	渋川市村上	国道353号(村上工区)	5
6	バイパス整備	吉岡町陣場 ～前橋市池端町	県道南新井前橋線(2期工区)	6
7		榛東村新井 ～吉岡町陣場	県道南新井前橋線(3期工区)	7
8		榛東村新井	県道南新井前橋線(4期工区)	8
9		渋川市赤城町滝沢	県道津久田停車場前橋線(滝沢工区)	9
10	線形改良	渋川市小野子	県道渋川下新田線(小野子工区)	10
11	バイパス整備	榛東村新井 ～吉岡町小倉	県道高崎渋川線(2期工区)	11
12	歩道整備	渋川市伊香保町伊香保	県道渋川松井田線(伊香保工区)	12
13		吉岡町大久保	県道前橋伊香保線(大久保工区)	13
14		渋川市北橋町真壁	県道分郷八崎寄居線(真壁工区)	14
15		渋川市八木原	県道高崎安中渋川線(八木原工区)	15
16	交差点改良	渋川市伊香保町伊香保	県道前橋伊香保線(伊香保交差点)	16
17	歩道整備	渋川市石原	(都) 渋川高崎線(街中工区)	17
18		渋川市北牧	国道353号(北牧工区)	18
19		吉岡町上野田	県道前橋伊香保線(上野田工区)	19
20	河川改修	渋川市半田ほか	一級河川利根川(半田工区)	20

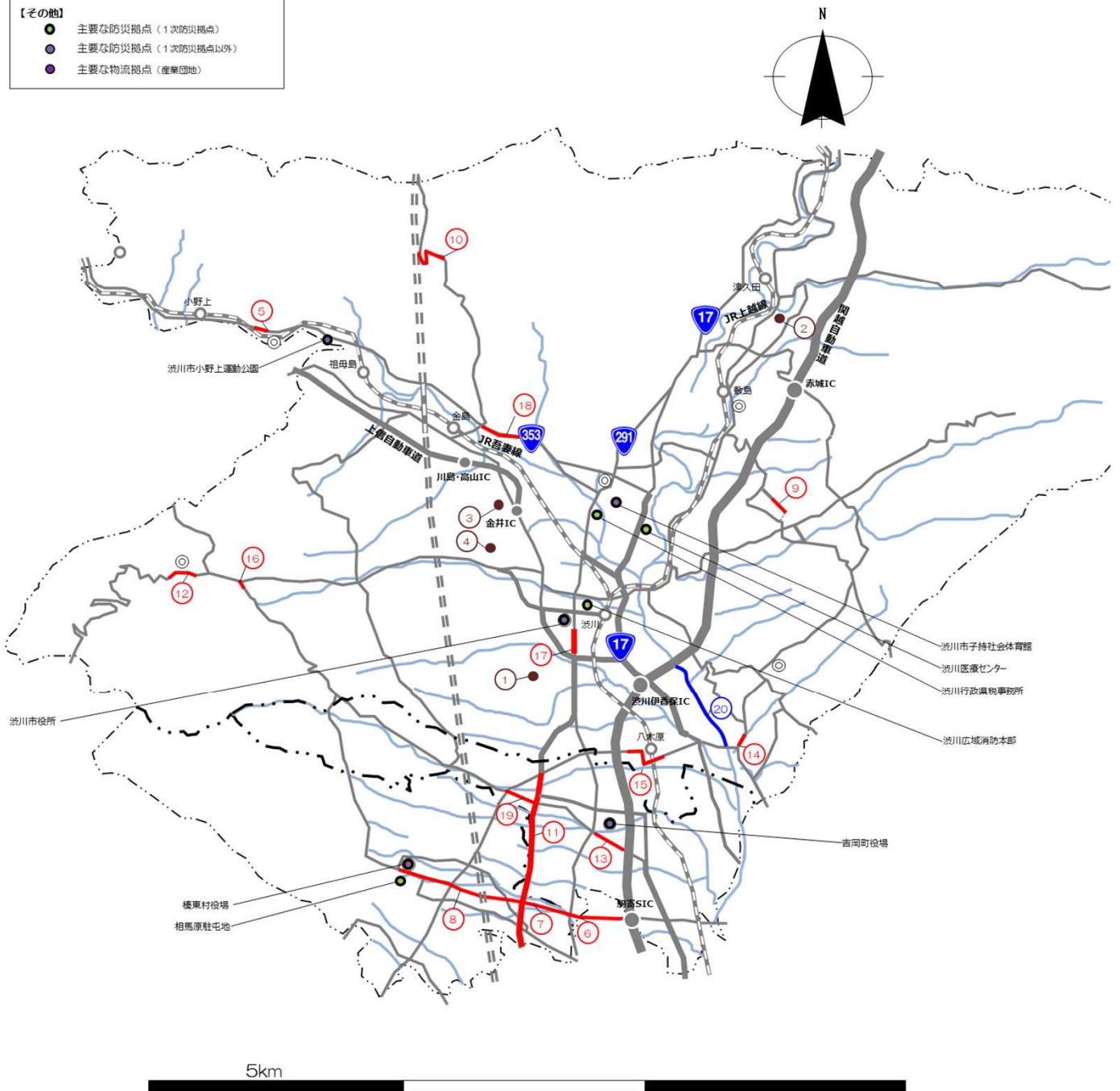
凡例

【事業分野区分】

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水・住宅・公共交通等）

【その他】

- 主要な防災拠点（1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産農団地）





どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を つくります

地元の声

・近年発生する集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。（地元住民）

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



荒廃状況

事業前の状況

事業後

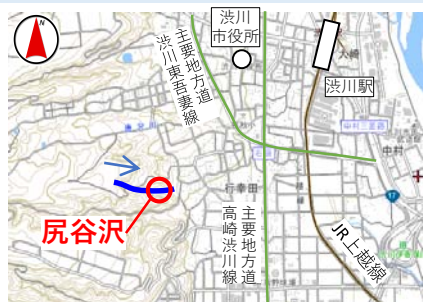
◆ 砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



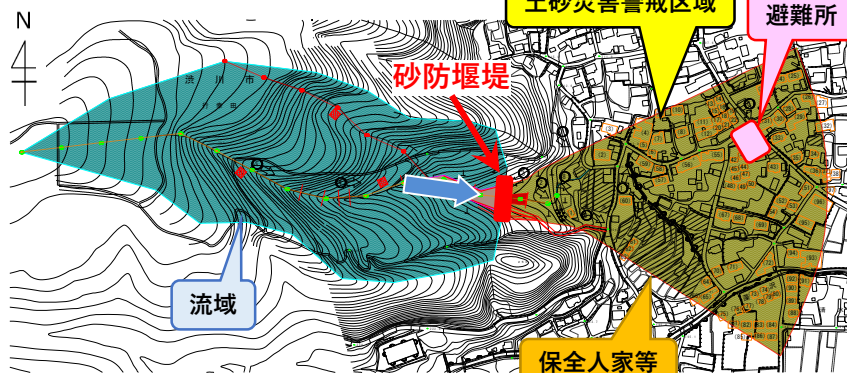
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市行幸田
- 事業内容：砂防堰堤 1基
- 事業期間：令和元年度～

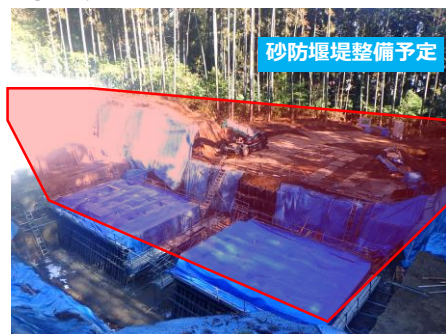


事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は、砂防堰堤の工事を実施します。



砂防堰堤整備予定

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元の声

・近年の集中豪雨により不安を感じたため、早急な対策を要望する。（地元住民）

事業前

◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

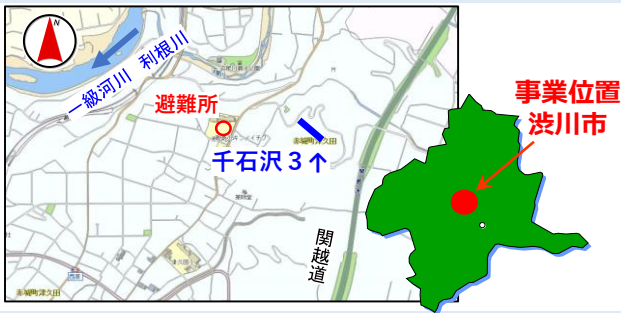
◆ 砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減しました。



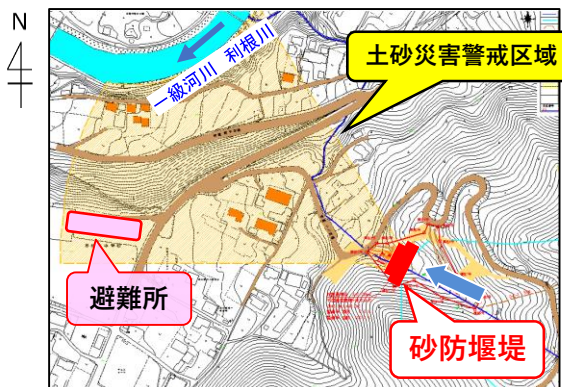
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：渋川市赤城町津久田
- 事業内容：砂防堰堤 1基
- 事業期間：令和元年度～令和4年度



事業の進捗状況（令和4年度完了）



今、何をしているか

令和4年度に事業完了となりました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を つくります

地元の声

・近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)

事業前

◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



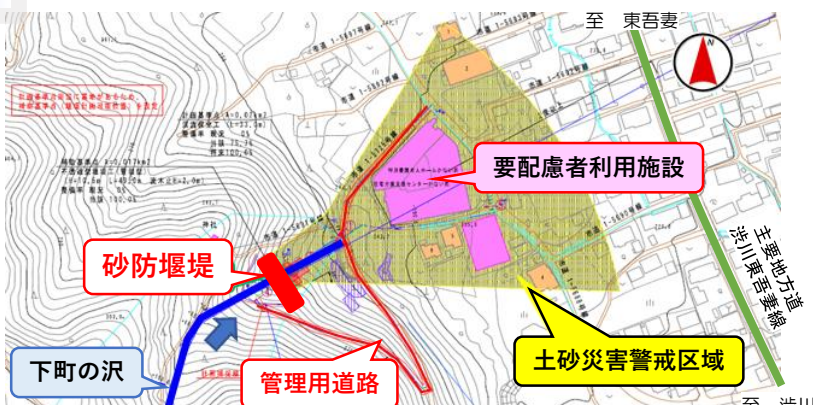
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：渋川市金井
- 事業内容：砂防堰堤 1基
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



事業のすすみ具合



今、何をしているか

令和6年度は管理用道路の整備を進めるとともに、砂防堰堤の工事に着手します。





どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を つくります

地元の声

・近年の集中豪雨による土石流に対して、不安を抱いている。(地元住民)

事業前

◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業後

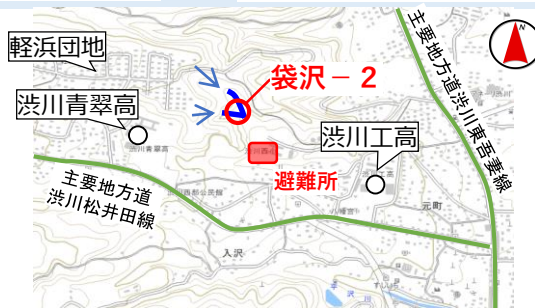
◆ 砂防堰堤の整備により、大雨などによる土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

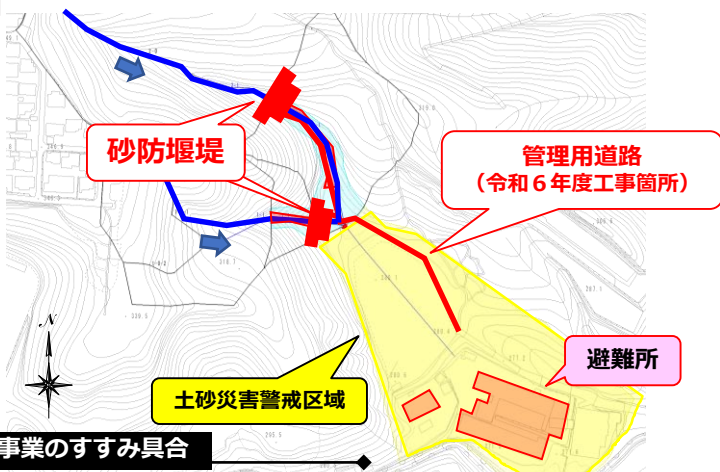
- 事業箇所：渋川市入沢
- 事業内容：砂防堰堤 2基
- 事業期間：令和2年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

今、何をしているか

令和6年度は管理用道路の工事を実施します。



事業のすすみ具合



事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路をがけから
離しました

地元の声

- ・何度もがけ崩れがあり大変危険な場所です。(道路利用者)
- ・渋川と吾妻を結ぶ重要な道路なので通行止めがあつては困ります。(地元住民)

事業前

- ◆大規模崩落や落石などにより、道路が寸断されるおそれがありました。



事業前の状況

事業後

- ◆川側に道路を移設し、崖側には擁壁を設置して、安全な通行区間を確保しました。



事業後の状況

事業の概要

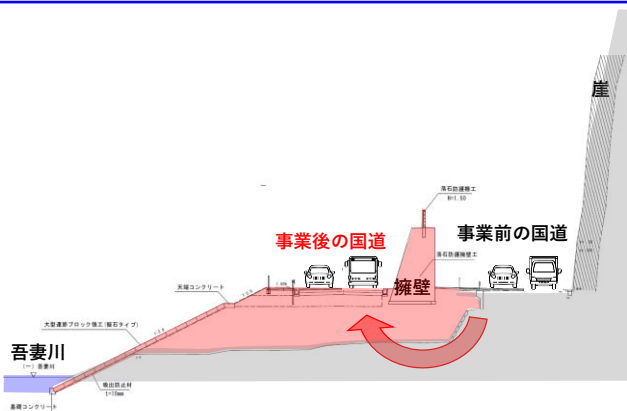
- 事業箇所：渋川市村上
- 事業内容：落石対策（道路改良） 延長 550m
- 事業期間：平成15年度～令和4年度



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度に法面工、舗装工を実施して、対策工事が完了し、自動車等の安全な通行が確保されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

県道南新井前橋線（2期工区） バイパス整備事業

事業完了

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりました

地元の声

- ・ 県や市町村の連携を強化することで、災害から早期に復旧できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・ 防災拠点から被災地へ、迅速かつ円滑に移動できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・ 駒寄スマートICの大型車対応化と合わせて、アクセス性を向上させてほしい。（道路利用者）

事業前

◆朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に、交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしていました。



事業前の状況

事業後

◆バイパス整備により、交通渋滞を回避し、災害時にも機能する安全な通行空間を確保しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：吉岡町陣場～前橋市池端町
- 事業内容：バイパス整備
延長1.1km 道路幅15.5m
- 事業期間：平成24年度～令和3年度



事業の進捗状況（令和3年度完了）



今、何をしているか

令和3年度に2期工区が完成し、3期工区の開通とあわせて、高崎渋川線バイパス、駒寄スマートIC、上武道路がつながりました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくりました

地元の声

- ・ 県や市町村の連携を強化することで、災害から早期に復旧できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・ 防災拠点から被災地へ、迅速かつ円滑に移動できるようにしてほしい。（地元住民）
- ・ 駒寄スマートICの大型車対応化と合わせて、アクセス性を向上させてほしい。（道路利用者）

事業前

◆朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に、交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしていました。



事業前の状況

事業後

◆バイパス整備により、交通渋滞を回避し、災害時にも機能する安全な通行空間を確保しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：榛東村新井～吉岡町陣場
- 事業内容：バイパス整備
延長0.9km 道路幅15.5m
- 事業期間：平成27年度～令和2年度



事業の進捗状況（令和2年度完了）



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

今、何をしているか

令和2年度に3期工区の整備が完了しました。令和3年度の2期工区完成とあわせ、高崎渋川線バイパス、駒寄スマートIC、上武道路がつながりました。



3期工区の開通状況

県道南新井前橋線（4期工区）

バイパス整備事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・ 駒寄スマートICへのアクセス向上が期待される。（地元住民）
- ・ 歩行者、自転車の安全性向上が期待される。（学校関係者、地元企業）

事業前

◆ 朝夕の通勤帰宅時間帯を中心に、交通混雑が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な走行に支障をきたしています。



事業前の状況

事業後

- ◆ バイパスが整備され、一般車をはじめ自衛隊車両等の緊急車両も駒寄スマートICへの円滑な走行が可能になります。
- ◆ 両側に歩道が整備され、子どもたちの安全な通行空間が確保されます。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：北群馬郡榛東村新井地内
- 事業内容：バイパス整備 延長2.6km 道路幅12.5m
- 事業期間：平成29年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

用地の取得が完了した箇所から順次道路改良工事を進めています。
令和6年度は継続して用地買収、道路改良工事、橋梁工事を推進します。



事業開始

事業完了

県道津久田停車場前橋線（滝沢工区） バイパス整備事業

事業完了

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

地域の観光振興を支援するため

バイパス道路をつくりました

地元の声

- ・「道の駅こもち」へ向かう道路を円滑に通行できるようにしてほしいです。（地元住民）
- ・道路が狭く、車同士すれ違うのに苦労しています。（地元住民）
- ・小学校の通学路があり、見通しが悪く狭いので、児童が事故に遭わないか心配です。（地元住民）

事業前

◆現道は幅員が狭くカーブが多いうえ、歩道がないため、危険な状況でした。



事業前の状況

事業後

◆安全で快適に通行可能な幅員の道路が新たに整備されました。



事業後の状況

事業の概要

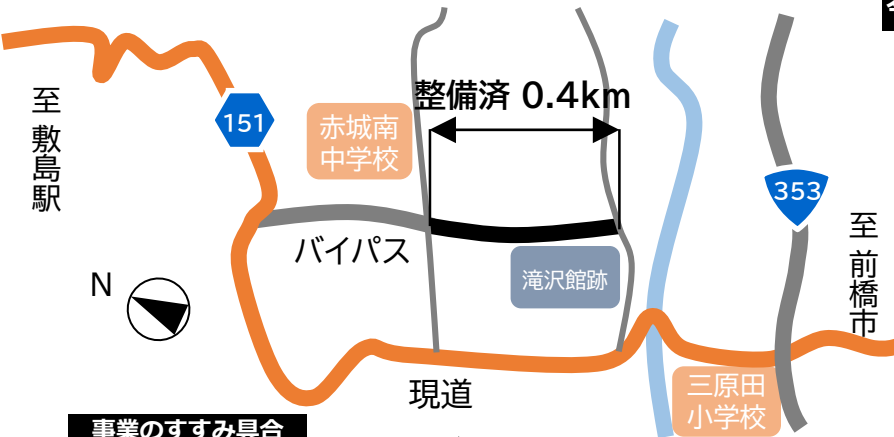
- 事業箇所：渋川市赤城町滝沢
- 事業内容：バイパス整備
延長 0.4km 道路幅 9.3m
- 事業期間：平成26年度～令和3年度



事業の進捗状況（令和3年度完了）

今、何をしているか

令和3年度で滝沢工区が完成しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

県道渋川下新田線（小野子工区） 線形改良事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

地域の観光振興を支援するため

急カーブをゆるくします

地元の声

- ・「道の駅中山盆地」へ行く際に利用するので、円滑に通行できるようにしてほしいです。（地元住民）
- ・日当たりが悪く冬場は路面が凍結するため、改善されることを期待します。（地元住民）

事業前

◆急カーブが連続し、冬場には路面が凍結するため、危険な状況です。



事業前の状況

事業後

◆急カーブと凍結箇所が改善され、安全に走行できるようになります。



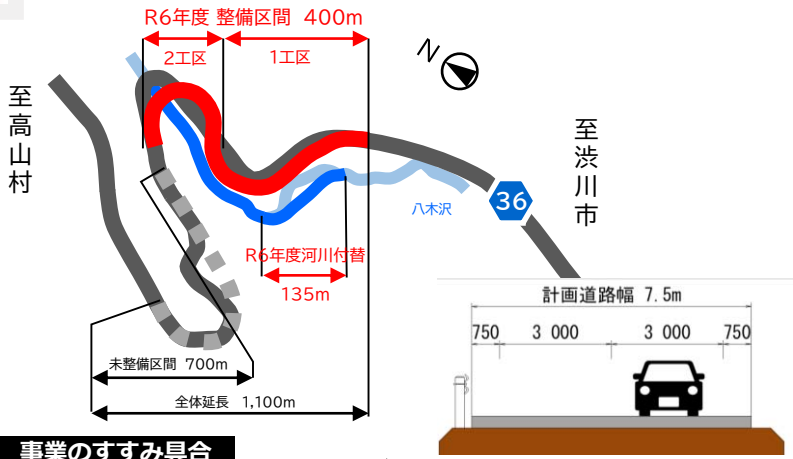
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：渋川市小野子
- 事業内容：線形改良
延長 1.1km 道路幅 7.5m
- 事業期間：平成25年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は道路改良及び河川付替工事をを行います。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

広域的な地域間連携を強化するため

4車線道路に しました

地元の声

- ・現道は朝夕の渋滞が激しく、通勤に時間がかかるので困ります。（道路利用者）
- ・バイパスを早く4車線化して、スムーズに走れるようにしてほしい。（地元住民）

事業前

◆現道は朝夕の渋滞が激しく、道幅も狭いため、円滑な通行に支障がありました。



事業前の状況

事業後

◆4車線化により交通容量が増えることで、渋滞を解消し、地域間の円滑な通行を確保しました。



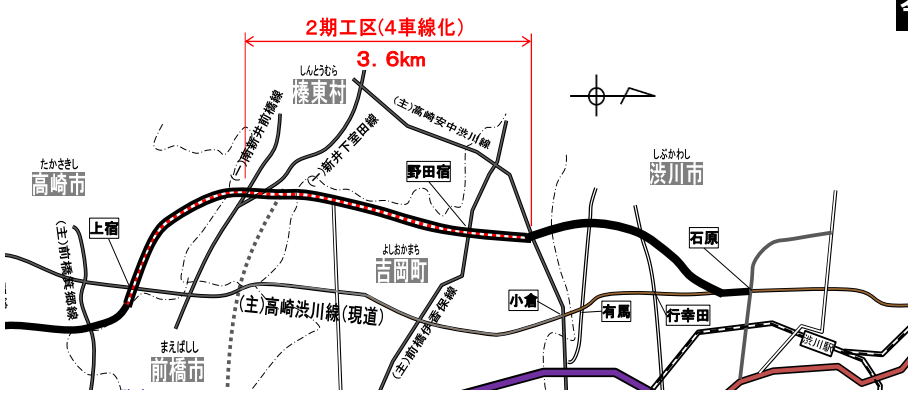
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：榛東村新井～吉岡町小倉
- 事業内容：バイパス事業（4車線化）
延長3.6km 道路幅25.0m
- 事業期間：平成30年度～令和2年度



事業の進捗状況（令和2年度完了）



今、何をしているか

令和2年度に全線4車線化が完了し、複数市を結ぶ広域的な地域間連携が強化されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

- ・観光客が街歩きを楽しめるように、歩道を広くしてほしい。(旅館関係者)
- ・歩道がない箇所があり、すぐ横を車が通るので危ない。(路線バス運転手)

事業前

- ◆観光地内の幹線道路でありながら歩道が狭く、歩行者が路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。



事業前の状況

事業後

- ◆歩道を広げ、観光客をはじめとする歩行者の安全な通行空間を確保しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：渋川市伊香保町伊香保
- 事業内容：歩道整備 延長430m 歩道幅2.5m
- 事業期間：平成25年度～令和3年度

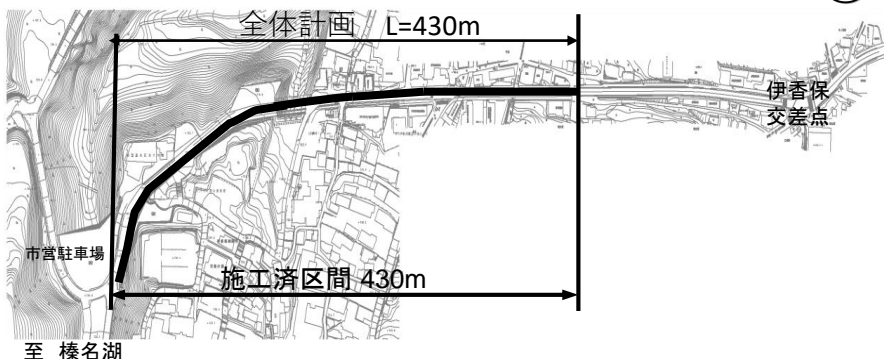


事業の進捗状況 (令和3年度完了)



今、何をしているか

歩道拡幅と交差点改良工事を実施し、令和3年度に事業が完了しました



事業のすすみ具合

事業開始 ●

事業完了 ●

県道前橋伊香保線 (大久保工区) 歩道整備事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がないので、登下校時に何度も怖い思いをした。(地元中学生)
- ・児童・生徒が歩くすぐ横を車が走るの、事故が起きないか心配です。(地元住民)

事業前

- ◆ 歩道が無く、通学する児童等は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

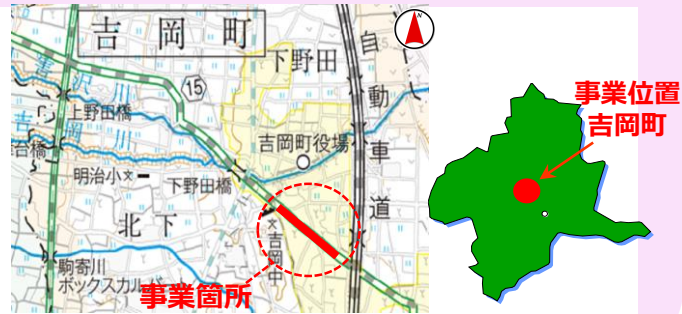
- ◆ 歩道を設置することで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。



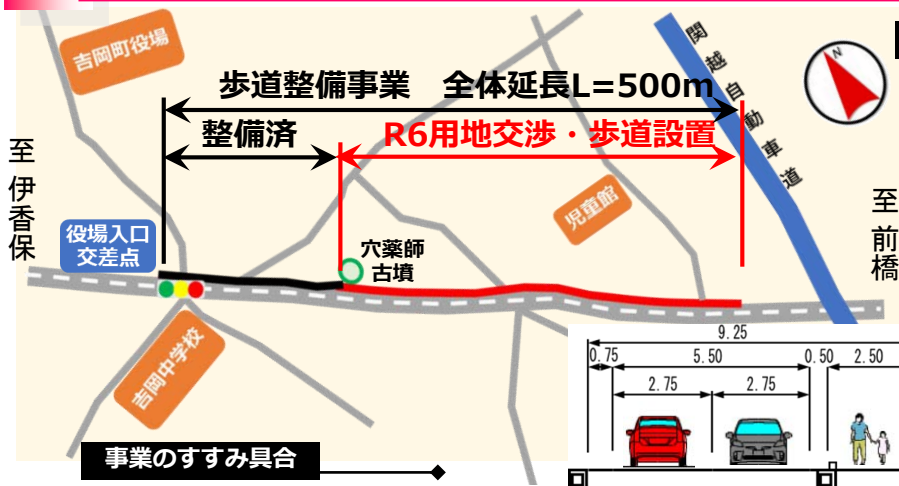
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：吉岡町大久保
- 事業内容：歩道整備 延長500m 歩道幅2.5m
- 事業期間：平成29年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は用地買収、歩道整備工事を行います。



事業開始 ●

事業完了 ●

県道分郷八崎寄居線（真壁工区） 歩道整備事業

事業完了

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備をしました

地元の声

- ・坂道でスピードを出す車も多いため、登下校がとても不安です。（地元小学生）
- ・路肩を歩いてる子供達を見るたび、車に接触しないかハラハラします。（地元住民）

事業前

- ◆ 歩道が狭く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

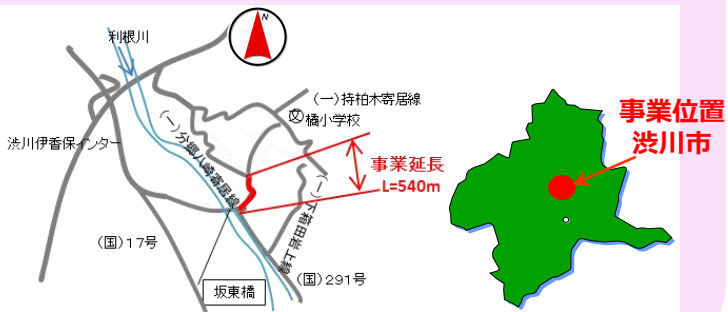
- ◆ 車道と歩道が分離されることで、通学する児童の安全な通行空間を確保しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：渋川市北橋町真壁
- 事業内容：歩道整備 延長540m 歩道幅 2.5m
- 事業期間：平成26年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）

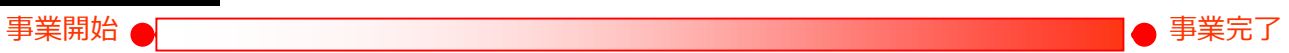


今、何をしているか

令和5年度で事業完了しました。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がないので、登下校時に何度も怖い思いをした。(地元中学生)
- ・児童・生徒が歩くすぐ横を車が走るの、事故が起きないか心配。(地元住民)

事業前

- ◆ 歩道が無く、通学する児童等は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

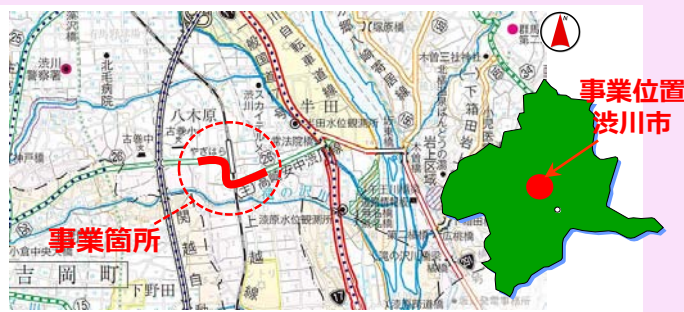
- ◆ 歩道を設置することで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。



事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：渋川市八木原
- 事業内容：歩道整備 延長750m
自転車通行帯1.5m 歩道幅2.5m
- 事業期間：令和元年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は用地買収、歩道整備工事をします。



事業開始

事業完了

県道前橋伊香保線（伊香保交差点） 交差点改良事業

事業完了

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道の整備と道路の 線形を直しました

地元の声

- ・交差点が鋭角で1回で曲がりきれないこともあるので困っています。（地元住民）
- ・近くの観光地へ歩くのに、歩道がなく危険を感じます。（地元住民）

事業前

- ◆ 交差点内の見通しが悪く、歩道が無いため、交通事故のおそれがありました。



事業前の状況

事業後

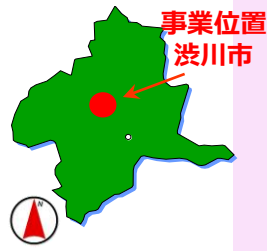
- ◆ 交差点の見通しが良くなるとともに、歩道が整備されることで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



事業後の状況

事業の概要

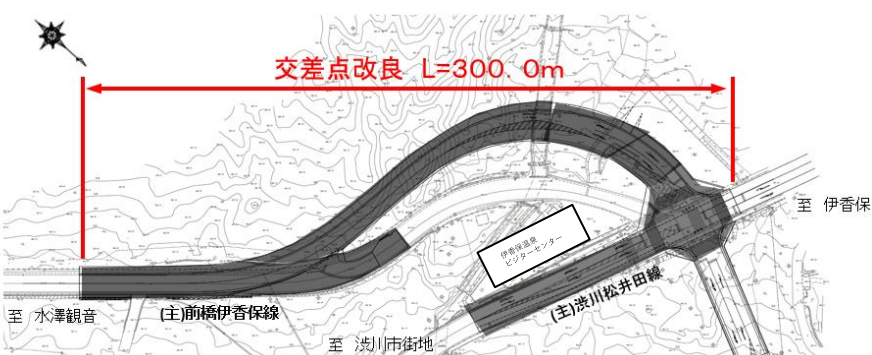
- 事業箇所：渋川市伊香保町伊香保
- 事業内容：交差点改良 1箇所
延長 300m 歩道幅 2.5m
- 事業期間：平成29年度～令和4年度



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度は道路改良工事を行い、事業が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全かつ円滑な通行を確保するため

歩道と自転車通行帯を設置します

地元の声

- ・小学校の通学路となっているため、登下校する児童の安全を確保してほしい。(地元住民、学校関係者)
- ・道が狭く自転車と車との接触が心配なので、自転車と車の通行を分けてほしい。(地元住民、学校関係者)

事業前

- ◆ 歩道がないため、歩行者・自転車と自動車が錯綜し、交通事故の危険があるほか、交通の流れが悪くなっています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 車道と歩道の分離と自転車通行帯の整備により、歩行者と自転車の安全な通行空間を確保するとともに、交通の円滑化を図ります。



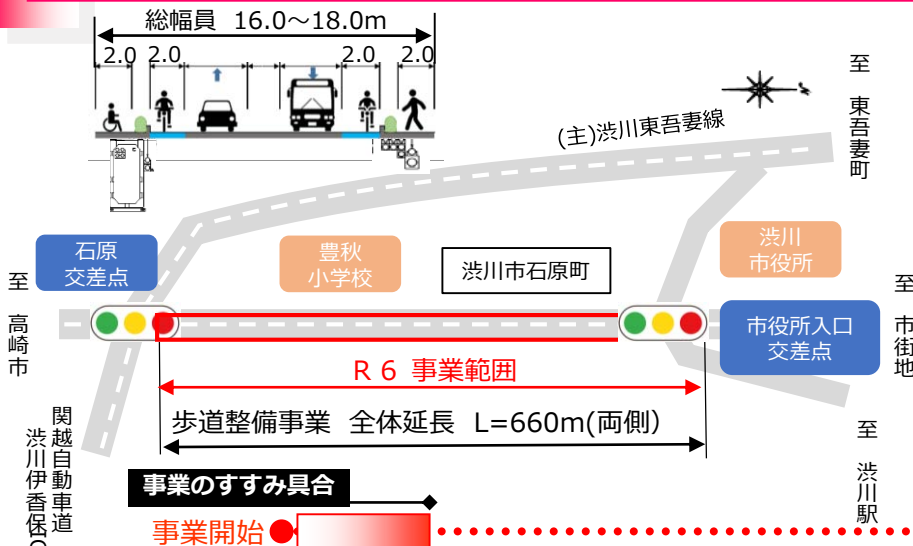
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：渋川市石原
- 事業内容：歩道整備延長 660m
歩道幅2.0m
自転車通行帯2.0m
電線共同溝整備延長 1,320m
- 事業期間：令和3年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

- ・令和6年度は用地買収を行います。



事業完了



どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

・車道の幅も狭く、見通しが悪い上にスピードを出す車が多いため、大変危険です。(地元住民)

事業前

◆ 歩道が狭く、通学する児童等は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 車道と歩道が分離されることで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。



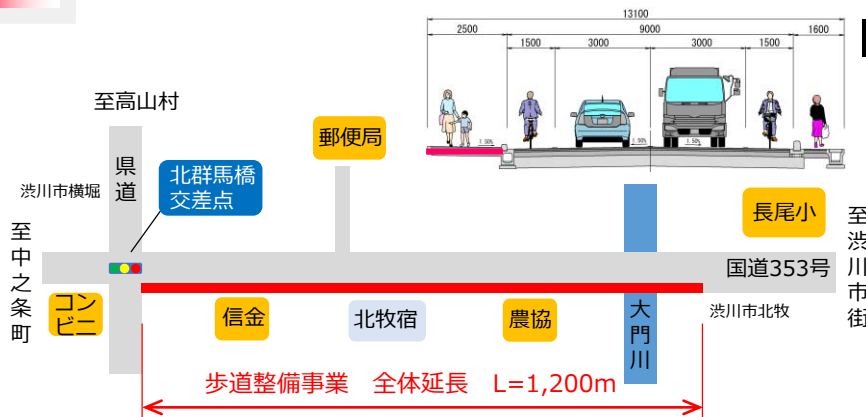
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：渋川市北牧
- 事業内容：歩道整備1,200m
 自転車通行帯 1.5m
 歩道幅 2.5m
- 事業期間：令和4年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は用地調査・用地買収を行います。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道がない箇所があり、歩行者の横を車が通行するため、危ない。（地元住民）
- ・歩道が狭く、車との距離が近い。危ないため、歩道を広くしてほしい。（地元住民）

事業前

◆歩道が狭く、車道側を通学する児童等が歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

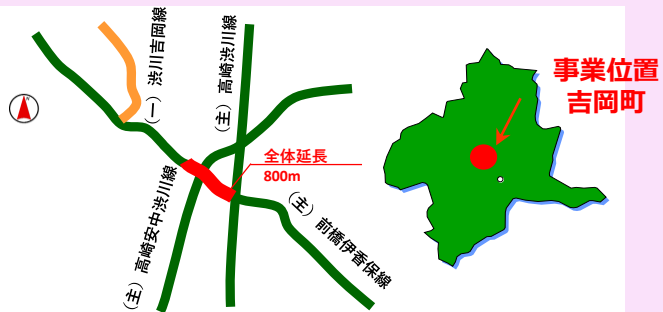
◆歩道を広げることで、通学する児童等の安全な通行空間を確保します。



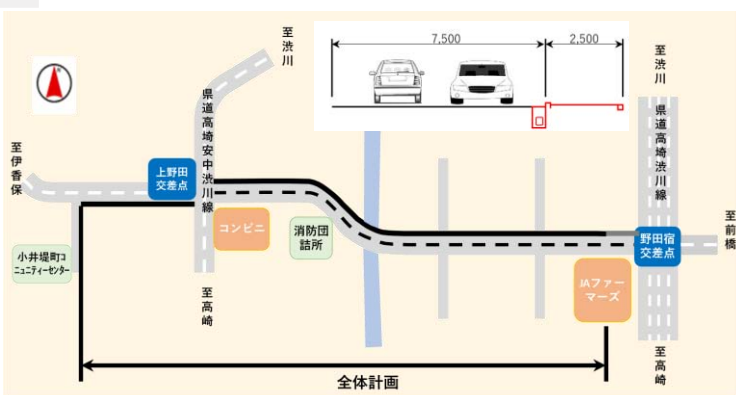
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：吉岡町上野田
- 事業内容：歩道整備 延長L=800m 歩道幅2.5m
- 事業期間：令和5年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は用地調査・用地買収を行います。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防を嵩上げして流せる
水の量を増やします

地元の声

- ・家が川の近くにあるため、氾濫しないようにしてもらいたい。(地元住民)

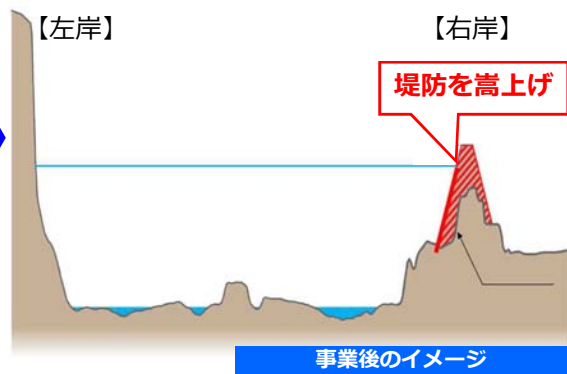
事業前

- ◆背後地盤高が比較的低く、工場や人家が密集しています。



事業後

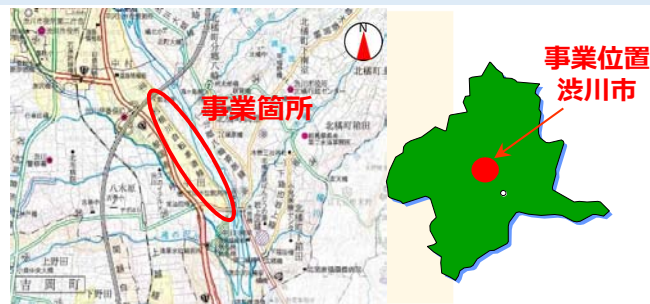
- ◆堤防が高くなり下流へ安全に流せる水の量が増え、河川の氾濫による被害のリスクが軽減されます



事業の概要

- 事業箇所：渋川市半田
- 事業内容：堤防嵩上げ 延長2200m (右岸)
- 事業期間：令和6年度～

※事業延長は詳細調査の結果で変更となる可能性があります。



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は測量調査を実施します。

